



高松市議会 News 第27号 香川洋二

今回の高松市議会 News 第27号は6月定例会と9月定例会の合併記事となります。ご了承ください。

**6月補正予算7億7894万円等17議案及び9月補正予算7億870万円等21議案
原案可決**

平成23年6月定例会は7月12日閉会。2011年度6月一般会計補正予算7億7894万円可決。なお、補正後一般会計予算は1507億4894万円。この中には香南町香南アグリームで再整備される仮称動物ふれあい施設も含まれる。

また、9月定例会は20日閉会。9月定例会一般会計補正予算案7億870万円可決。条例では事業系一般廃棄物処理手数料を来年4月から100キロまで1550円に引き上げる条例の一部改正案等21議案を可決した。

**☆新病院等整備特別委員会
新市立病院基本計画見直し案
2か月遅れで了承**

本年4月から高松市民病院が地方公営企業法全部適用となり前徳島県立病院事業管理者であり元坂出市立病院院長だった塩谷泰一氏が病院事業管理者として就任。昨年3月策定した新市立病院基本計画に関し医師の確保、勤務医の勤務環境等を勘案・再検討した結果、人間ドック廃止、緩和ケア病棟廃止等の見直しを市側が提示。この見直しに対し議会側との調整が難航。見直しの根拠には地方自治体病院が抱える医師確保問題がある。現在市

民病院は42名の医師で診療。新病院では最低60名の医師確保が不可欠。私は病院事業管理者の見直しは現実的対応であると理解したうえで、議会は医師確保のサポーター役になるべきと強く主張。本年度第1回特別委員会において塩谷病院事業管理者の新市立病院基本計画修正案支持を表明。9月16日開催の新病院等整備特別委員会において市側が「人間



ドックを実施する方向で検討する」との意向を提示したことで特別委員会は見直し案を了承。「医師確保が困難な状況下人間ドック対応の医師確保策はあるのか？」という私の質問に病院事業管理者は「OB医師等により対応したい」と答弁。緩和ケア病棟について病棟設置は行わず、緩和ケア病室4床程度実施。また、当初計画より2か月基本設計完了が遅れる可能性があるが、予定通り平成26年完成を目指している。（写真は予定地の仏生山農業試験場跡地で埋蔵文化財発掘調査中。来年8月31日まで）

栗林小学校改築候補地は秋までに決めたい(大西市長答弁)

6月議会では懸案になっている栗林小学校校舎改築計画について市長に質問。「栗林小学校校舎改築は「まちづくり戦略計画」の中で重要取り組み事項として位置付けており、地域関係者との十分な協議を行い、現在地での建て替えと移転による建て替えの両面で候補地を検討し、今年の秋ごろには方向性を決定、基本設計の策定に入りたい。また、学校施設の機能はもとより地域住民の安全確保のため非常発電装置、備蓄倉庫等を整備したい」と大西市長は答弁。

高松南消防署正面シャッターが市民に開かれた！？



昨春新築移転した高松南消防署の正面シャッターが開設以来ほとんど閉じている理由を質問。高島消防局長は「車庫内に西風が強く吹き込み資機材が飛ばされる等のことから閉じていた。今後可能な限り開放に努めたい」と答弁。あまりにも公僕としての職業意識の欠如と危機感のなさは残念。なお、現在車庫のシャッターは日中上がっている。

市民活動団体活動場所確保に現高松市民病院東館を利活用

新病院整備に伴い現病院の利活用を提言。市民文化センター改築等により市民活動団体活動場所確保が困難となる。市民病院東館は耐震化対応済なので、東館を利活用すべきと質問。「基本的には解体を予定しているが、市民団体の意向も踏まえ、今後研究したい」と大西市長は答弁。

政務調査：ウォーキングバスについて（苫小牧市立拓勇小学校）6月14日



運転手役と車掌役の大人が乗客の子どもを囲み共に歩き子供を犯罪から守るウォーキングバスはイギリスで1990年始まった。日本では苫小牧市立拓勇小学校で導入。通学風景は集団登校と同じだが、地域の大人が同行することによる世代交流、地域の絆づくりには有効。昔遊んだ

「電車ごっこ」の要領。当日の運転手は6年生でオレンジのユニフォームを着用し地域の大人と一緒に運転(?)。この運動を提唱・推進しているのは同校の保護者OB等有志で組織するNPO法人エクスプローラー北海道。

6月議会一般質問項目

| |
|--|
| 市役所における書面協定見直しについて |
| 現在までの書面協定数及び項目別・分類別数と最も古い書面協定の年次 |
| 現在までに行った書面協定の見直し、または廃棄した書面協定数と内訳 |
| 新しい企業体に生まれ変わった市民病院は病院事業管理者の経営方針にのっとり、書面協定の見直しを行う考え |
| ソーシャルメディア等を活用して地域力向上 |
| ソーシャルメディアに対する所見 |
| 本市ツイッターのフォロー件数 |
| 市職員のツイッターフォロー件数を上げるためソーシャルメディア等の研修を行う考え |
| マスメディアへの情報提供を本市記者クラブにとどめず日本雑誌協会加盟各社など多面的に情報提供する考え |
| 多くのツールを使うという観点からユーチューブを使い市政情報を配信する考え |
| マスメディア、ソーシャルネットワーク等を活用し、本市の地域力向上のため、情報都市構築の研究会を産学官協働で立ち上げる考え |
| 市政情報の重要性、危機管理を考え、情報発信の一元化を図るとともに発信者は副市長もしくは担当部長とする組織に編成する考え |
| 高松市南消防署 |
| 常時高松市南消防署のシャッターを閉めなければならない正当な理由 |
| 市民活動団体等の活動場所確保策 |
| 市民活動団体等の活動の場が不足している状況において、新病院完成後、現市民病院東館を改修するなど有効に活用を図る考え |
| 教育関連 |
| 小学校集団登校時に保護者や地元住民が運行するウォーキングバスの仕組みをPTAや地域コミュニティ等に紹介する考え |
| 栗林小学校の改築において、地域の安心安全を担保する考え |

ウォーキングバス情報はNPO法人エクスプローラー北海道or拓勇小学校ホームページをご参照ください。左イメージ写真はNPO法人エクスプローラー提供。